

## 2つの地震火山子どもスクール～第7回地震火山こどもサマースクールとひらつか地震火山こどもスクール

### The 7th Schoolchildren's Summer Course and The Hiratsuka Schoolchildren's Course of Seismology and Volcanology

地震火山子どもサマースクール実行委員会 中川和之 [1]; 中橋 徹也 [2]; # 柏木 巳喜子 [3]

Kazuyuki Nakagawa Working group for Schoolchildren's summer course of seismology and volcanology[1]; Tetsuya Nakahashi[2]; # Mikiko kashiwagi[3]

[1] -; [2] 東京いのちのポータルサイト; [3] ひらつか防災まちづくりの会

[1] -; [2] NPO Tokyo Portal Site; [3] Hiratsuka Society for Civil Emergency Preparedness

<http://sakuya.ed.shizuoka.ac.jp/kodomoss/>

2006年8月19日20日の2日間、地震学会・火山学会の有志と市民団体であるひらつか防災まちづくりの会が首都大学東京の山崎晴雄氏を実行委員長として、第7回地震火山こどもサマースクール実行委員会を発足させ、神奈川県湘南平、大磯丘陵、国府津松田断層周辺をフィールドとして小学校5年生から高校3年生を対象としたサマースクールを開催した。そして、翌年2007年8月19日に、その成果を踏まえて、前述のサマースクールにスタッフならびに大きな子どもとして参加した一般市民を中心に『ひらつか地震火山こどもスクール実行委員会』を発足させ、平塚市博物館の協力を得て、神奈川県平塚市、大磯町にまたがる湘南平周辺をフィールドとして小学校5年生から中学3年生までを対象としたサマースクールを開催した。

#### 第7回地震火山こどもサマースクール「湘南平塚プレートサイド物語」

サマースクールでは、湘南平、大磯丘陵、国府津松田断層などを題材として、火山学会や地震学会の第一線の研究者とともに、野外での地形、地質観察や身近な材料を使った室内実験をゲーム形式での説明を織り交ぜながら、子どもたちに体験させることで、火山や地震のしくみを実感し、地震・火山災害についての理解を深めることを目的として行なわれた。2日目には、今回初めてとなる、子どもたちが発見したことを専門家の解説とともに発表する公開フォーラムを行った。2日間を通して解く謎（課題）として以下の5問を提示した。（1日目途中、夕立のためコースを短縮、謎も入替えた。）

1) 山の上が平らなのはなぜだろう？ 2) このあたりの山の上や丘陵からの眺めがいいのはなぜだろう？ 3) 大地震が起きると丘陵や平野ではどんなことがおきるのだろうか？ 4) 大磯丘陵はどんな土でできているのだろうか？ 5) 相模湾と大磯丘陵にはどんな力が働いて、何が起きているのだろうか？ 子どもたちは、この5つの謎に2日間を通して取り組み、公開フォーラムで発表した。日程は以下の通り。

1日目、9時 平塚市民活動センターに集合 9時20分 開校式、オリエンテーション、チームわけ、アイスブレイク

10時 湘南平に移動して、活断層地形の観察、

13時 平塚市教育会館で、湘南平、大磯丘陵他の講義ならびに食材を使った断層模型実験

16時 びわ青少年の家到着、入浴、食事、寒天ゼリーによる揺れの実験

19時 関東地震のお話ならびに紙ぶるる製作、プレート運動、プレート境界のお話

2日目 9時30分 チェックメイトCCからの地形観察 11時30分 震生湖観察

13時30分 平塚市博物館見学 15時 公開フォーラムにて謎の答え発表

今回初めて、1週間後の8月24日に、宿題まとめ、その後の疑問となった点を聞く場として復習ワークショップを開催した。

#### ひらつか地震火山こどもスクール「不思議発見！そのとき湘南平は動いた。」

およそ1年後の平成19年8月19日に前述のサマースクールにスタッフ、大きな子どもとして参加した専門家ではない市民を中心にひらつか地震火山こどもスクールを開催した。スクールでは、サマースクール同様、ゲーム形式を交えて野外観察と身近な材料を使った実験で湘南平をつくり出した大地の営みを実感し、地震をもたらす大地の恵みと災害についての理解を深めることを目的とした。通して解く不思議（課題）として、以下の3問を提示した。1) 海と平地に挟まれているところにあるのはなぜだろう？ 2) 山の上が平らなのは、なぜだろう？ 3) これから湘南平はどうなっていくだろう？ 日程は、午前中を、上記の不思議を解く鍵として設定した探検ポイント5箇所（西小磯海岸、湘南平山頂、テレビ塔、断層路頭、湘南大橋）の見学観察を行った。各探検ポイントでは、案内役として市民が絵などを使って説明を行なった。子どもたちから出た難しい質問には、同行した専門家がヒントを与えながら答えを導いた。午後は、平塚市博物館で学芸員から午前中の見学ポイントの解説から始まり、ココアと小麦粉を使った断層模型実験、ばねを使った波動伝播実験、ゼリーを使った揺れの違いを知る実験、ストローをつなげて作る高さや強さを競うストローハウス工作を行い、最後にサマースクールの講師でもあった武村氏（鹿島建設）の西湘の地震ならびに地震防災の心備えの話聞いた。各観察ポイント、解説ではサマースクールを真似て、質問、回答があったチームになまずシールを与え、競うゲーム方式をとった。終了時には参加者に「平塚なまず博士」の認定証を与えた。

